

1 研究主題

自信をもって生き生きと学ぶ子どもの育成
-「深い学び」の実現を目指した学びのつむぎ-

2 研究の具体

アクティブ・ラーニング研究推進モデル校事業を受けて3年目となる本年度は、「主体的・対話的な学び」を「深い学び」につなげることを中心に研究を進めた。

【研究内容】

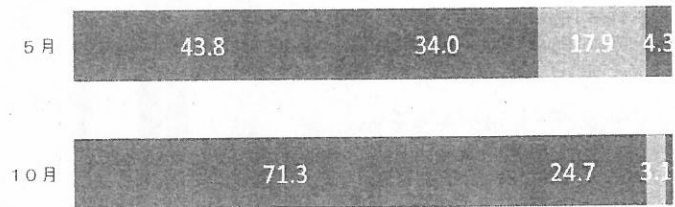
- ① 主体的な意欲や学習を支える土台づくり
- ② 「深い学び」を生み出すための工夫
- ③ カリキュラム・マネジメントの視点をもった授業づくり



3 研究の検証及び改善の手立て

【「研究成果の参考とする10の指標」結果】

学習の最後にまとめふり振り返りが自分の言葉で書けていますか。
■思う ■どちらかといえば思う ■どちらかといえば思わない ■思わない



児童が考えた「学び」のスタイルを共有し、学習に取り組んできた。「深い学び」を生み出す学習スタイルを意識し、授業改善の工夫に努めることで、自らが課題を設定し、あきらめずに解決していこうとする児童の姿が見られるようになった。

1 研究主題

きき合い、かかわり合い、学びを楽しむ子どもの育成

2 研究の具体

「きく・語る」

自己内対話を促す「きく・語る」活動とは? (自己理解)

- 体験と学習を重ねる中で生まれる言葉を、自分に引き付けてきき、自己を語る。



【きく・語る様子】

「かかわり」

もの・人・ことへの「かかわり」を促す教材開発・単元化とは?

- 児童が課題意識をもち続ける単元構想
- かかわりを深める教材開発
- 思考ツールを活用した学び合いの活性化



【かかわりの様子】

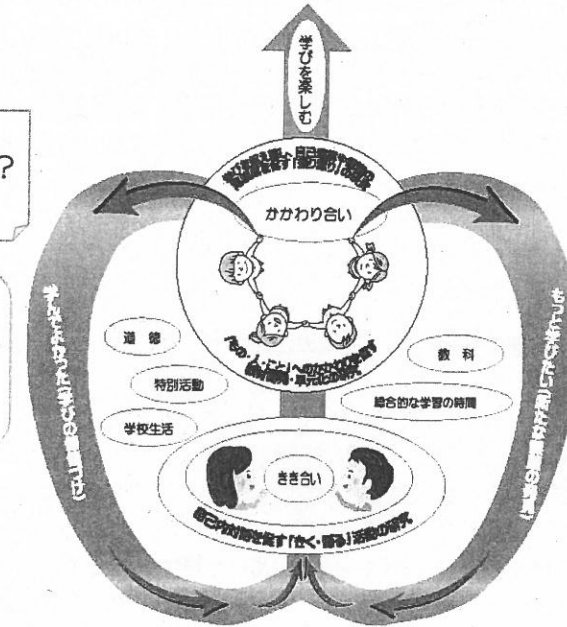
「振り返り」

学びを捉え直し、自己理解や認識の再構成を促す「振り返り」とは?

- 学習前との比較による成長の実感
- 児童自身による自己の学びの把握
- 日常生活への汎化

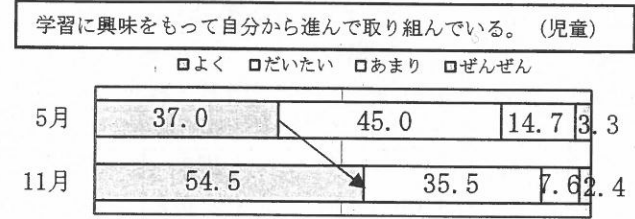


【振り返りの様子】



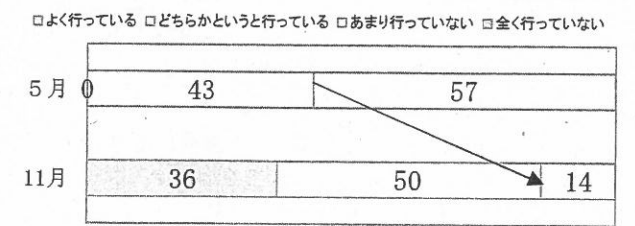
3 研究の検証及び改善の手立て

○ 児童の自己評価では、「学習に興味をもって自分から進んで取り組んでいる」割合が増えた。児童の意識に沿った単元化を行うことで、主体的に学習に取り組もうとする意欲が育ってきた。



○ 学び合いの場で思考ツールを活用することで、取り組むことが明確になり、学習意欲が低い児童や苦手意識のある児童も、自分の意見を伝えようとする姿が見えてきた。

児童の意欲を引き出し、主体的な学びを促すための単元化を行っている。(教員)



○ グループで一つの考えを作り上げる課題を設定することで、児童は考えをきき合い、よりよい考えを模索し、深い学びにつながった。

● 「価値ある振り返り」となるよう教師は工夫してきたが、児童自身に振り返りのよさを実感させる支援を考える必要がある。